

後漢における「儒教国家」の成立



[後漢における「儒教国家」の成立 下载链接1](#)

著者:渡邊義浩

出版者:汲古書院

出版时间:2009年03月

装帧:

isbn:9784762928659

本書は、後漢における「儒教国家」の成立により「儒教の国教化」が完成した、という仮説を論証することを目的とする。仮説そのものは、すでに渡邊義浩《一九九五》で提出しているが、四年間にわたる中国思想史研究者との共同研究の結果、若干の定義の変更を行い、渡邊義浩《一九九五》で不足していた經典に則した「儒教国家」成立の議論を展開するものである。（【序論「儒教の国教化」をめぐる議論と本書の方法論】より）

作者介绍:

目录: 序論 「儒教の国教化」をめぐる議論と本書の方法論
第一篇 国政の運用と儒教經典

第一章 両漢における春秋三伝と国政
武帝期までの前漢の国政と公羊伝／宣帝期の国政と穀梁伝／
劉向・劉歆と左氏伝／後漢の国政と公羊伝・左氏伝の相剋
第二章 『白虎通』に現れた後漢儒教の固有性
宗教性／国制との緊密性／臣下への配慮
第三章 後漢における礼と故事
前漢における故事と法制／古制の台頭と「周公の故事」／
後漢における故事の役割
第四章 両漢における華夷思想の展開
公羊伝と穀梁伝／稱臣と不臣／何休の夷狄観
第二篇 君主権の正統化と祭祀・儀礼
第五章 鄭箋の感生帝説と六天説
鄭箋に見える感生帝説／六天説と感生帝説／
漢家の祭天と六天説
第六章 両漢における天の祭祀と六天説
両漢における天の祭祀／鄭玄の六天説と緯書／皇帝・天子と
天子為公・天下為家／永遠なる天と革命を支える天
第七章 漢魏における皇帝即位と天子即位
『白虎通』における君主の即位／伝位における君主の即位／
禅譲における君主の即位
第八章 「魏公卿上尊號奏」にみる漢魏革命の正統性
漢魏革命の経緯／「魏公卿上尊號奏」／人的構成の分析
第九章 「受禅表」における『尚書』の重視
「受禅表」碑にみる漢魏革命の正統性／『尚書』顧命篇に記
される即位の二重性／圖讖から『尚書』へ
結 論 後漢における「儒教国家」の成立
・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[後漢における「儒教国家」の成立 下载链接1](#)

标签

秦汉史

東國漢學

秦汉

海外中国研究

日本汉学

感兴趣

历史

先秦秦汉

评论

[後漢における「儒教国家」の成立_ダウンロード1](#)

书评

[後漢における「儒教国家」の成立_ダウンロード1](#)